

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立八軒西小学校 【日時】 平成 29 年 12 月 8 日(金) 【対象】 3 年生 児童 43 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (社会科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・札幌オリンピックミュージアムでの展示物等の見学や冬季スポーツコーナーでの体験、施設の方からの講話を聴くことで、札幌オリンピックに関する歴史や先人の思いを学ぶ。 ・札幌オリンピックを調べる活動を通して、人々の生活の変化や人々の願いを考えるきっかけづくりとする。
5 取組内容	札幌オリンピックミュージアムを訪問し、オリンピックの講話を聴いた後、館内の展示品を見学しながら、大倉山の歴史等についての説明を聴いた。また、冬季スポーツ体験コーナーで、競技の疑似体験を行い、最後に、大倉山ジャンプ競技場を見学した。 ○指導計画 社会科 「かわってきた人々の暮らし」の小単元2「のこしたいもの、つたえたいもの」8時間扱いのうちの3時間を配当する。 ・事前に札幌オリンピックについての調べ学習を行い、開催時の人々の生活や競技等への関心を高める。(1/3) ・札幌オリンピックミュージアムの見学を行う。(2/3) ・札幌オリンピックについて調べ学習を通して学んだことをまとめるとともに、当時の札幌市の様子や人々の思いを考える機会とする。(3/3)

	①オリンピックの方の講話  ②展示品の見学  ③冬季スポーツ体験  ④大倉山ジャンプ競技場の見学 
6 主な成果	- 子どもたちは、オリンピックが取り組んだ競技や、オリンピックの代表選手になるまでの挫折と栄光などのお話を伺い、興味津々で講話に参加できた。 - 展示品についての説明の場面では、真剣にメモを取る子どもたちの姿が見られた。説明をしていただいたことで、展示品の内容がより理解しやすかった。 - 冬季スポーツ体験コーナーでは、バーチャル体験ができるコーナーが多く、子どもたちは、時間の過ぎるのも忘れて、興味をもっていろいろな冬季スポーツの疑似体験を楽しんだ。 - 大倉山ジャンプ競技場のスタート地点までリフトに乗って行くことができ、頂上から札幌市の街並みを望めたことは、子どもたちにとって大変貴重な体験となった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	- 今回、社会科の学習として、指導計画を立てて実施したが、実際に見学した内容と社会科としてねらっていた目標（札幌オリンピックに関する歴史や先人の思い、人々の生活の変化や人々の願いを考えるきっかけづくり）とに差があった。 - 社会科「かわってきた人々の暮らし」の小単元2「のこしたいもの、つたえたいもの」として扱うならば、扱い方の見直しが必要である。 - オリンピックの講話は、大変よい内容であった。生き方についての話があり、高学年を対象にしてもよい。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。